

自分たちの地域は自分たちで守り 持続可能な地域社会を作る

原地域づくり協議会

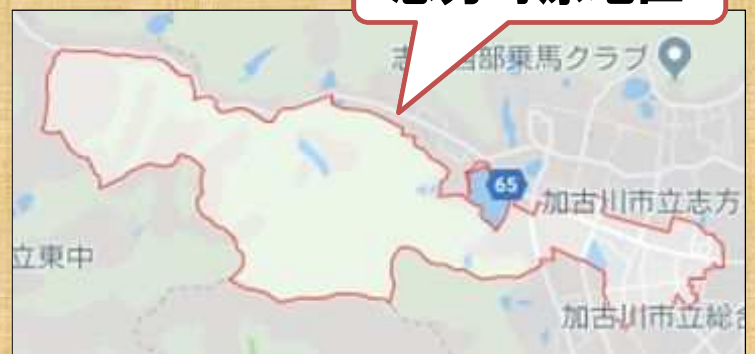


1

加古川市原地区の概要



志方町原地区



原地区

藤池集落

本村集落

西原集落

新田集落

2

原地域づくり協議会の概要

■協定農用地

- ・田: 32.3ha
- ・畑: 1.0ha

■農業用施設

- ・用水路: 8.5km
(開水路+パイプライン)
- ・ため池: 5箇所
- ・農道: 4.0km



3

組織構成

原町内会

原地域づくり協議会

構成員192名(農業者:95名、非農業者:97名)

・役員(11名)

・町内会

・老人会

・農業団体

・水利組合

藤池集落

本村集落

西原集落

新田集落

4

定例会

令和6年度 活動計画

(原地域づくり協議会)

活動内容	令和6年												令和7年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
・農用地&施設の点検、機能診断	▼水路、農道等の点検														
・水路の補修・・(長寿命化工事)	(水路U字溝の拡幅更新工事)・・原東部														
・農道&水路の軽微な補修	(農道陥没箇所他)														(水路目地詰め等)
・水路の草刈り、泥上げ・・(町内会と活動)	▼(溝掃除)・・各地区一斉														
・ため池の草刈り・・(町内会と活動)	(岡の池)▼	(入住池)▼	(岡の池)▼						(皿池)▼	▼(岡の池、入住池)					
・原地域の草刈り活動・・(草刈り隊による地域の維持管理)	(協同活動)&(請負活動)														
・大池周辺(弁天さんの丘など)の景観維持管理 …(大池五ヶ村との共同作業含む)	▼(草刈り)			▼(草刈り)			▼(草刈り)			▼(草刈り)					
							水仙植栽(大池)▼								
・大池のヒシ除去作業・・(繁殖状況により判断)	(ヒシ除去)														
・志方西地区カヌー体験イベント・・(事務局)	▼(カヌー体験イベント/大池)・・志方西地区児童を対象														
・ため池ふる里教育プログラム(志方西小)の支援	▼(カヌー体験/大池)・・4年生						▼(かいぼり体験/皿池)・・全校生								
													▼(水仙植栽&桜植樹/大池)・・4年生		
・景観植物の観賞イベント・・(レンゲ、コスモス)	▼レンゲ摘み体験・・こども園&志方西小			▼(コスモス種まき)			▼コスモス鑑賞イベント								
・農村環境保全の啓発活動(活動状況を町内会回覧)	▼多面的活動状況を町内会回覧														
・クリーンキャンペーン活動・・(町内会と活動)													▼(各地区一斉)		
・農村文化の伝承(とんど行事)・・(町内会と活動)													▼(とんど)・・本村、西原、新田		
・イノシシ防護柵の定期点検&補修	(定期点検)・・原町内会全体で取り組み(1回/月)														
・ムカデ芝による畦畔管理省力化の継続実証 (自家製ピット苗工法)・・コスト削減	(種まき)	(育苗成)	(苗移植)	(散水→選択性除草剤→雑草高刈り等)						(施工場所):R5年度実施エリアの東側 (法面高さ:約2m×長さ:150m)					

5

農地・農業用水等の適切な保全

農地維持・資源向上(共同)①



①水路の泥上げ



②ため池の草刈り

6

農地・農業用水等の適切な保全

農地維持・資源向上(共同)②



③イノシシ防護柵定期点検



④水路の軽微な補修

環境創造型農業の推進



レンゲ畑



レンゲ摘み

これまでの活動トピックス

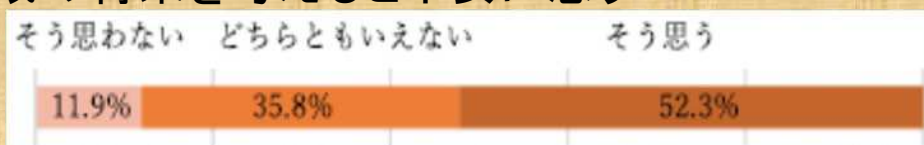
年度	主な内容
平成30年度	・多面的機能支払交付金制度に加入 ・お宝探検ウォークイベントを開催・・・”原地域のお宝とため池をもっと知ろう”
令和元年度	・多面的機能保全向上活動発表会にて東播磨県民局長賞を受賞 ・カヌー&アスレチック体験イベントを開催(1回目)
令和2年度	・原地域の今後を考えるアンケート調査を実施 (対象:農家・非農家)
令和3年度	・農地利用の意向アンケート調査を実施(対象:農家) ・「人・農地プラン」が実質化 ・草刈隊の発足
令和4年度	・草刈隊の請負活動開始 ・カヌー体験イベントを開催(2回目)
令和5年度	・畦畔管理省力化実証調査(センチピードグラス) ・カヌー体験イベントを開催(3回目)
令和6年度	・畦畔管理省力化実証調査を継続実施 ・カヌー体験イベントを開催(4回目)・・・地域内外親子も参加 ・「地域計画」作成に向けて町内会で話し合いを実施

9

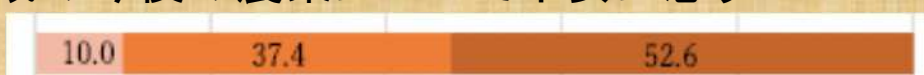
原地域の今後を考えるアンケート調査(対象:農家・非農家)

Q. 原地域に対してあなたが感じる印象を教えてください

- ・ 原地域の将来を考えると不安に思う



- ・ 原地域の今後の農業について不安に思う



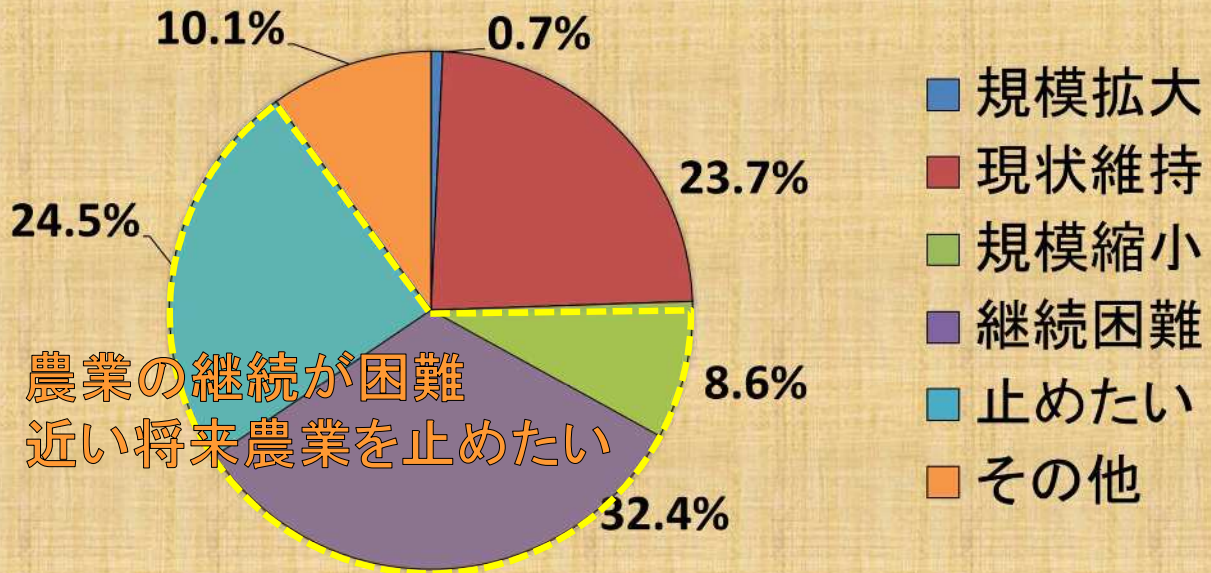
- ・ 農地の荒廃を防ぐために地域全体で新たな取り組みが必要だと思ふ



10

農地利用の意向のアンケート調査(対象:農家)

Q1. 農業経営の今後についてどのように考えているか

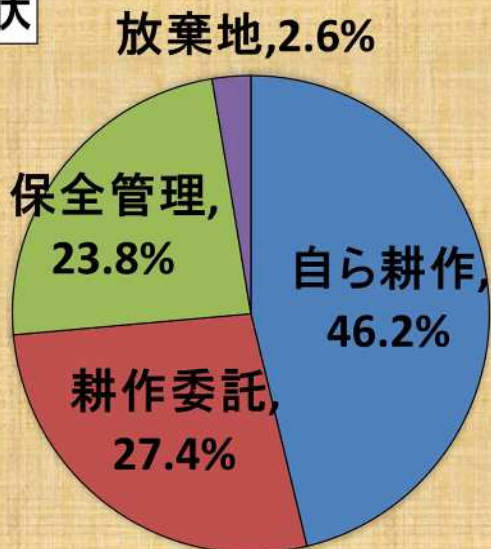


11

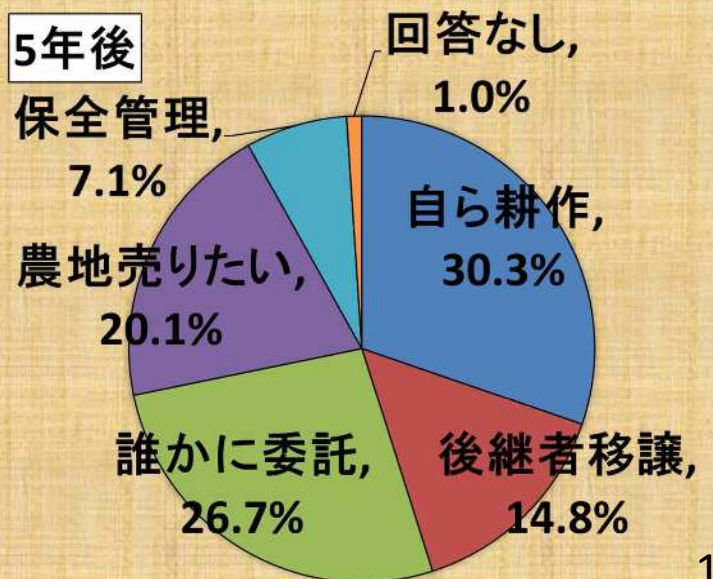
農地利用の意向のアンケート調査(対象:農家)

Q2. 農地利用状況と5年後の意向についてどう考えているか

現状



5年後



12

農地の維持管理について課題の共有・話し合い

人・農地プランを作成・実質化

- ①法人認定新規就農者の初参入が決定
- ②原地区耕作委託先であった志方西宮農から若手個人大規模農家への移行

13

話し合い風景



14

カヌー体験イベント

ため池の「大切さ・魅力・安全」と「冒険心・仲間意識・ふる里への思い」を培うと共に地域内外の交流を図る

- 令和元年度
原地区を主体に初めて開催
- 令和2～3年度
新型コロナの感染拡大により断念
- 令和4～5年度
志方西地区が一体となり小学校児童を対象に開催
- 令和6年度
地域内外の一般親子も含めて開催規模を拡大

15



16

草刈隊の活動

- （令和3年度）：草刈隊を発足（10名）
 - ・共有的な農道・排水路、あぜを対象に活動を開始
- （令和4年度）：請負活動（田 & 畦畔）を開始
 - ・放棄田の解消及び遊休農地の維持管理
 - ・現在の受託者（12名）、対象地面積（約1.6ha）

次世代に継いでいくことが課題

17

草刈隊の活動



18

畦畔管理省力化(ムカデ芝)

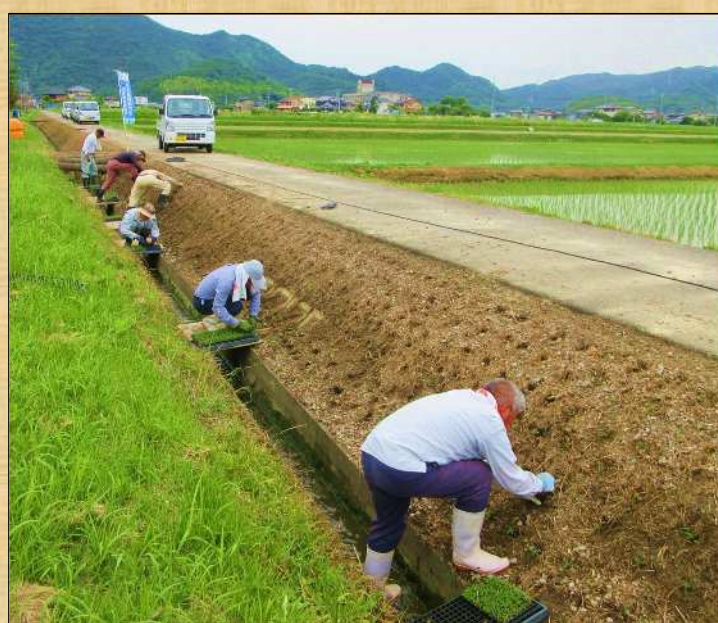
- 草刈り回数の削減を目的に、ムカデ芝を活用した畦畔管理省力化の実証調査へ参画
- 現在2年間取り組んできた感想として、ピット苗製作～生育～被覆するまでに雑草対策など意外と手間がかかるが、ムカデ芝の成長は実感しつつある
- 今後、この経験を活かし畦畔管理省力化の観点から、計画的にムカデ芝を徐々に拡げていく予定

19

畦畔管理省力化(ムカデ芝)



自家製ピット苗



ピット苗の定植

20

次代につなぐために

「人・農地プラン」から「地域計画」の策定に向けて、地域の課題について話し合い、将来の農地利用の効率的な在り方を明確化し、実現を目指していく。

- ①個人大規模農家へ、比較的規模の大きい農地の集積・集約を図る
- ②認定新規就農者又は新規就農者の受け入れを促進する
- ③環境創造型（緑肥栽培など）の農業を推進する

げんたいけん

そして、イベント等を通して、ふる里を原体験してくれた子供達が将来、地域を担ってくれることを期待しています。

ご清聴ありがとうございました

